



News Letter

順天堂大学女性研究者支援室 創刊号

編集・発行
順天堂大学女性研究者支援室
〒113-8421
東京都文京区本郷2-1-1
センチュリータワー南12階
☎03-5802-1009
E-mail: sankaku@juntendo.ac.jp



女性研究者支援室ホームページ開設

ハイライト:

- 平成23年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択
- キックオフシンポジウムを開催



シンポジウム開催中の保育風景

活動報告 (H23年度報告)

順天堂大学は、平成23年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択されたことを受け、キックオフシンポジウムを開催いたしました。

今回のシンポジウムは「女性研究者事情、世界スタンダードを知るー順天堂発次世代女性研究者へのメッセージ」と題し、国内外で活躍中の研究者を招き、各国の女性研究者を取り巻く社会事情と研究環境について、発表・討論を行い、男女（国内外研究者、学生、関係独立行政法人等から）述べて100名を超える参加者がありました。

シンポジウムは、大学の男女共同参画推進室長で女性研究者支援室長でもある新井一医学研究科長（医学部長）から開会挨拶が行われ、本事業総括責任者である木南英紀学長から主催者挨拶の後、第一部の基調講演としてDr. Hynda Kleinman（米国）から「NIH女性研究者支援委員会設立時委員長として」と題し、NIHでの女性研究者の教育研究環境の調査とその改善策を組織に根付かせるまでの作業過程の紹介と、2012年現在改善すべき問題点の紹介が行われました。引き続き特別講演としてDr. Sophie

Nicole（仏国）から「女性研究者フランス事情：男女共同参画推進国より」、Dr. Jennifer H. Elisseeff（米国）からは「女性研究者米国事情：米国医学研究の最先端より」と題し、それぞれの国の立場での女性研究者を取り巻く研究環境の歴史と現状の紹介が行われ、第二部として日本人研究者からの事例報告を佐々木隆子先生（大分大学）から「女性研究者ドイツ事情：日独米での研究生生活を通して」、井関祥子先生（東京医科歯科大学）から「女性研究者お茶の水事情 東京医科歯科大学女性研究者支援室の取組」と題し、女性研究支援に対する日独米の温度差について、体験談を含め紹介されました。最後に、垣生園子先生（本学免疫学講座客員教授）からシンポジウムを総括し、女性研究者へのメッセージを頂き、盛会裏に終了いたしました。



新井医学研究科長



木南英紀学長



シンポジウムを終えて、垣生先生を交え演者と座長

相談室

研究のこと、家庭のこと困ったことがあれば、一人で悩まず何でも相談してください。女性研究者支援室から相談員がお取りをお伺いいたします。（個人情報のお取り扱いについては徹底いたします）

連絡先
E-mail:sankaku@juntendo.ac.jp
担当：古田・梅木・佐藤

女性研究者支援

平成23年度は、研究支援を希望した数名の研究者に対して、ヒアリングを行いながら研究（実験等）の支援を行いました。手探り状態での実施のため、改善すべき点は多々ありました。平成24年度は一人でも多くに支援が行えるよう、皆さんと話し合いながら研究支援が行えればと思います。

搾乳室の設置

昨年来、要望のありました搾乳室を健康管理室の支援を頂き、運用が行えることとなりました。事前申込制となっていますので希望者は男女共同参画推進室ホームページから申し込みをお願いいたします。

<http://www.juntendo.ac.jp/kyodoss/support01.html>